大詔奉戴日
京城日報
朝刊
京城府太平通一丁目三十一番地
發行所 合資會社 京城日報社

戰爭政治の根幹 政府、明確に顯示
兩院の論議愈よ最高潮

【東京電話】議會は連日活潑な審議を進め衆議院は七日日曜日にもかゝはらず豫算總會を開いて審議を續行、貴族院の決算審議に呼應して戰力增强を中心とする各般の問題について建設的論議を集中、決戰下議會機能の效率的發揮に邁進した、しかしてこの間議會を通じて決戰現段階に對應すべき諸般の戰時施策の起動と全貌を内外に闡明、政府の毅然たる態度を顯示した 特に開國以來の大業完遂を期するに當り現下の戰爭政治の根幹は……

じめ各閣僚とも明解率直に誠意ある答辯をもつて答へ、いよいよ政治翼贊の總意を示すべき第三週を迎へるに至つた、衆議院は十三日の本會議では昭和十八年度總豫算案を可決するが、兩院の先議法案も續々可決されいよいよ兩院審議の交流が行はれる 貴族院は先議法案三十九件中すでに十九件を可決して衆議院に送附してをり、さらに八日工鑛業會法など十六件を上程可決して衆議院に送附する豫定である、これによつて同院の先議法案は四件を除すのみとなり衆議院よりの豫算案はじめ各重要法案の送附に待機するのである……十日も特に本會議を開いて貴族院……とするとともに增税案、石油專……院に送附することゝなつてゐるの……貴族院に移り衆議院は專ら法案の……審議するわけで議會は今週な……質的最高潮を經て格別……月末をもつて議了し自……みとなつた

衆議院豫算總會

【東京電話】七日の衆議院豫算總會は午後一時十八分開會

馬場元治氏(長崎) 日ソ關係の現狀如何、漁業條約の交涉經過如何

谷外相 漁業條約は現在交涉中であり、内容は說明出來ない

馬場氏 本年中に本交涉は成立する見込か

外相 暫定交涉は本交涉が出來るか出來ぬかといふことゝは別である、現在本協定がまだ出來てゐないので併行して行つてゐるのである

馬場氏 北樺太石油は現在どうなつてゐるか

外相 北樺太石油も目下交涉中

馬場氏 敵國輿論の動向について知りたい

奧村情報局次長 敵國の輿論の探知方法については萬全を期してゐる、例へば一昨日スチムソンはムルマンスクの航路の護衞船が獨潛水艦のため困つてゐる旨告白してをり、また昨日は顧維鈞夫人がもし對支援助を今後强化しなければ對日抗戰は不可能になると語つてゐるが、これがヘラルド・トリビューン紙に掲載され大騷ぎをしてゐることも既にわかつてゐる、例のレンネル島沖の海戰についても嶋田海相の議會報告を間髮を入れず海外に放送し、米では翌日各新聞が大本營發表と嶋田海相の報告を掲げた、そこで米國はわが日本の發表は多分嘘だらうと政府系新聞に發表せしめたが結局ノックス海軍長官はわが大本營發表を否定し得ず、一昨日ある程度の發表を行ふに至つてゐる

馬場氏 戰力增强における滿支の役割如何

賀屋藏相 滿支はわが戰力增强に重要な役割を果してゐる、滿洲の動力、石炭、鐵、支那の石炭、鐵、海南島の鐵などは特に著るしい、わが國においても十分これらの生產增强に援助してゐる

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各〻其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑〻東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ丕顯ナル皇祖考丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增强シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益〻經濟上軍事上ノ脅威ヲ增大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

豪膽、敵機銃を奪ふ
死鬪續く南太平洋戰線

【〇〇基地〇〇日同盟】南太平洋ソロモン、ニューギニヤ方面の戰鬪は今次大東亞戰爭における最も慘烈なる死鬪の連續である、敵米英はその尨大なる生產力を恃んで航空戰、輸送戰に一擧にわれを壓倒せんとし、戰に臨んでは飽くなき鬼畜行爲をも敢てしつゝあるに對し、必勝の信念に燃ゆる皇軍將兵はあらゆる惡條件を克服し日夜血みどろの決戰を續けてゐる、人跡未踏の密林、惡疫瘴癘の地に補給難と鬪ひ、木の根、草の根を喰りながら進擊を續ける陸軍部隊の勞苦は全く言舌に盡し難いものがある、記者は〇〇日當局の好意によつて南太平洋の最前線において勇戰奮鬪し、この程〇〇基地に白衣歸還した勇士を訪問その生々しい感想を聞くを得た、以下は勇士が交々語る戰場の實相である

敵も作戰を研究

D將校 私はこれまで各方面を歷戰したが、特に今度のニューギニヤ作戰で感じたことは『敵の戰鬪方法日に新たなり』といふことで、敵はマレー作戰の苦い經驗により日本軍の特性をよく研究してゐたと思つた、たとへば攸間攻擊についてみても敵はわが方が夜襲込んで行くと直ぐにその地域を捨てて退却するやうなことはなく、一應退いたのち再び側面から反擊に出て來るといふ風な强靭性があつた、陣地そのものも非常に彈力性があり、敵兵は一里、二里ブッジヤングルの各所に散在してゐて巧に相互の連繫をとつてゐる

その上僞裝が非常に上手で、一本の木があるとその根元に穴を掘つて身體を全く隱しわが方が近接するのを待つて射つて來る、これは支那事變などとは全然違つてゐるところです

素質も仲々優秀

A將校 ニューギニヤ作戰の始まるまでは英米兵は素質が非常に惡い、戰鬪にも弱いと考へられてゐたが今度敵と遭遇して『敵も軍人だ』との感じを深くした、特に敵がはるばるスタンレー山脈を越えて山のこちらまできて陣地を布いてゐた點から考へても如何に積極的だつたかが判る、又捕虜の訊問の際もいま迄のやうにすらくと喋る者はなく、將校に至つては仲々口を割らず『白狀するより首を斬れ』といふほどの勇敢なのもゐた、濠洲兵は質的に優れてをり年齡も卅歲から卅二歲位までの者ばかりで、捕虜も『俺たちは濠洲の最强の兵隊だ』といつてゐた

ジャングル中の戰鬪ではわが方が彈藥に乏しかつたのに比べて手榴彈など一人で二、三十發を持つてゐたので白兵戰の威力を十分に發揮出來なかつた、ニューギニヤは内地では想像出來ないほどの山岳地帶で、三千メートルもある數段の山が重りあひ、山と山との間には谷川が流れてゐる、敵はわが方がこの谷川を渡り切つた時分を見はからひ陣地の中に隱れてゐて自動小銃やチェッコ機銃で掃射し手榴彈を投げて來るが決して出擊して……

獰猛な敵の糧食

高砂義勇隊の奮戰

勇猛の決死斥候兵

勅使、御使を御差遣
故林大將の葬儀

【東京電話】畏き邊りでは正二位勳一等林銑十郎大將の葬儀に際し七日午後零時五十分勅使として久松侍從を、また皇后宮御使として小出事務官を、皇太后宮御使として濟閑寺事務官をそれぞれ靑山齋場の葬場に差遣はされ、靈前に玉串を供せしめられ厚くその靈を慰めさせられた

わが船舶保有量
戰前と大差なし
寺島遞相答辯

【東京電話】寺島遞相、武井海軍經理局長は七日午後の衆議院豫算總會において川副隆氏(長崎)の質問に答へ、大東亞の廣大なる地域から彪大なる物資を輸送し戰力を增强するためには船腹は多々益々辨ずべきは當然のことであるが敵側の宣傳にあるが如きわが船腹の損害はないのであつて、現在、保有船は戰爭勃發當時と大差はなく、それぞれ重要物資の輸送に從事してゐる旨を言明、いはれなき不安を一掃するとともに戰時標準型船舶の堅牢性を强調し、さらにこれが多數建造によつても、何等將來の造船技術を低下するものでないことを明示、注目を惹いた

寺島遞相答辯(速記要旨) 世の中には今日船が非常に少くなつたのではないかと心配する向きもあるとのお話であるが、これは數字的に申すことは出來ないが、今日わが國の保有し運航してゐる船舶は開戰當時と比べて大差ないのであつて、今日の大地域にわたる戰爭を完遂しまたこの地域の開發に從事する船舶は多々益々辨ずべきであつて、この意味において船舶が超重點的に必要であると申してよい、今日必需物資の輸送が不自由勝であるといふことも事實である、生產擴充にはこれ以上の船舶を必要とすることは當然であるが、國民の一部に敵が宣傳する損害をわが船舶が受けてゐると思ふものがあつたとすれば、それは誤りであつて、その點は御安心して戴きたい

戰時下において標準型あるひは特殊型船舶を多量に建造する結果船舶の建造について將來技術の低下を來しはせぬかとの御質問であつたが、この點は特に遞信省としても將來の船舶海運政策には深甚の注意を拂つてゐる、たゞ物資を節約し、建造工程を出來るだけ早めて能率のあがる船を建造するので、多少船の年齡に影響を及ぼすことはあるが、造船技術の低下を來すといふことはしない、なほまたこれらの船以外の特殊船の建造もあるが、遞信省としては船舶試驗所においてこれらの點も十分研究してゐる、然しながら現在將來の優良船の計畫をやるかといへばこれは十八年度が大切なので目下の事態に一隻一トンでも多量に造り、能率を發揮することに重點を置き主力をこゝに集中してゐる

武井海軍經理局長 標準船について若干その性能に不安があるのではないかといふ質問であつたが、この問題は海軍として重大關心をもつて完全に行つてゐる、造船技術を動員して凡ゆる方面から十分研究をした結果間違ひない性能を有するといふ結論に達し、今回の標準船を決定した、またある船種については實地について實際に造つて見てその上で實地について性能を檢査し間違ひのないといふ結論を得て造つたので萬々遺憾ないものと思つてゐる

井野農相 價格均衡の具體案如何……

黑澤酉藏氏(北海道) 滿洲開拓民の現狀如何

靑木大東亞相 滿洲開拓民は米、麥ならびに滿洲特產物增產に相當成績をあげてゐる、最近入植した一部で自給自足の出來ないものもあるが全體としては心配ない

黑澤氏 滿洲開拓に北海道の……

大東亞相 政府は二十ケ年百萬戶計畫を樹立し逐次これが實現を圖つてゐる、現在この計畫は變更する考へはない

川副隆氏(長崎) 船舶建造の現狀如何

寺島遞相 海軍において船舶の建造には萬全を期してゐる、何等心配はない

川副氏 戰時標準型船舶の强度、その機能などについては何ら不安はないか

武井海軍經理局長 標準型船舶の强度については海務院でもこれを重視し間違ないといふ確信を得て造船に着手した次第である、御安心願ひたい

かくて同六時三分散會

臺灣の徵兵制
實施を考慮
齋藤長官、那須局長答ふ

【東京電話】七日の衆議院豫算總會で山本粂吉氏の質問に對し陸軍省兵務局長は臺灣の徵兵制實施について考慮してゐる旨をそれぞれ左の如く答辯した

議會展望

けふの兩院

貴族院 本會議 午前十時開會……

衆議院 本會議なし 豫算總會は午前十時安藤正純氏(東京)……

社説
家庭祭祀の重大意義

總力戰聯盟の指導下に、愛國班の實踐要項として二月は各戶に神を祀り敬神報鬪の生活を營む精神を徹底せしめることになつた。恰も紀元二千六百三年の同胞は戰時下に於ても勝てる國の民たるの誇りと歡喜をもつて天の道を地上に敷き、其國を天國たらしめて和樂し、美はしき精神の拠りどころを持ち得て愈よ聖戰完遂に邁進しようといふのであるから、實に意宜に適したものである……

"道義朝鮮"和で築け
廿日から第二回親切運動

温かい親しみのある明朗な銃後で職域に挺身しよう、一億一丸も和を以て交はり人情を以て接してこそ初めて生れて來るのである、彼らに窮屈にならず明朗濶達な銃後で總力戰に勝ち拔かうと總力聯盟では昨年八月半島二千四百萬愛國班員の愛國心に愬へ"お互ひに親切に致しませう"と第一回親切運動を全鮮に展開したが、決戰第二年の春を迎へ半島民衆に更にこの趣旨を徹底滲透させ道義朝鮮確立と銃後奉公に一歩と邁進させようと來る廿日から九日間に亘り關係機關の援助を得て"第二回親切運動"を繰展げることゝなつたこの期間中全鮮諸官公署、會社、銀行、學校、工場、市場、停車場、事業所、商店、劇場、集合所、病院、各種交通機關等生活組織全般に亘り親切運動の透徹を期して大々的に指導獎勵することになつたが、聯盟では次ぎのやうな方針で各層のこの運動への全幅的協力を要望してゐる

勝ち二千四百萬全鮮愛國班員が心から親切運動を具現實踐するのには先づ公務者、つまり官公署に職を奉ずる、いはゞ民衆の指導に當る者自身が親切の範を示す雰氣で常に民衆に接するときは聊かの私情私心をも挾むことなく明朗濶達な心境と態度で民衆の相談相手となり職權地位を利用し、または差別を設けるやうなことがあつてはならぬ、民衆處理に當り事務は確實敏速を旨とし例へば一個の荷物の處置でも公務員の態度は多數民衆の物心兩面に大きな影響を與へることを銘記の上、誠心をもつて民衆の便宜を圖ることを念頭に置き職務即ち親切の信念で徹すること肝要である

また商業者は營業は自分のためのものでなく國家の活動、國民生活に關聯する國家的業務であることを自覺し銃後の忠僕として奉公精神に一徹すると、從つて顧客に對して常に言葉遣ひを慎み特に"有難うございます""すみません"等の氣持と言葉を心から常用感謝の念に滿ちて商道を重んじること、闇取引は勿論、情實賣りを絶滅して物資配給の圓滑を期すること、

假令無理解な客に對しても飽迄親切丁寧な言葉や態度で相手を理解させることが商道確立への最も大切なことである

一方一般民衆としては常に官公署員に對しては、よくその指導に從ひその勞苦を偲び進んで協力すること、また隣人や業者に對して從來のやうな傲慢的氣持や態度を捨て常に同情の念で接すること愛國班協同の精神を極度に發揮し物資の公平なる配分に努めること、汽車、電車、自動車または多數の公衆が集合する場所等では相互謙讓の美徳を發揮し公衆道德の向上に努めること、尚ほ人に對してばかりではなく例へば傳遞廢品回收に努めてこれを生かして使ふとか、ガス、水道などを出來るだけ節約して一切の物に對しても"勿體ない"といふ氣持で、親切丁寧な取扱ひ方をすることが必要である、これでこそはじめて口先だけの親切、形式を勤務する親切、人に與へるといつた氣持の親切でなく誠意と敬意を伴ふ本當の親切となるものである

なほこの期間中はラジオ、ポスターはもとより國民學校兒童たちに講話を行つたりこれに關する作文等を書かせて親切運動の徹底を圖り有終の美を擧げるため協力させることになつた

けふ大詔奉戴日
徹せよ敬神崇祖の生活

（決戰完勝の決意も固く本年第二回目の大詔奉戴日を迎へて全鮮二千四百萬愛國班員は早朝七時半、寒風を衝いて班旗を先頭に町會毎へ參列する、この朝總督大直朝鮮神宮宮司は『神國日本と敬神』と題して三日後に迎へる紀元の佳節に因んで神國日本の大いなる姿と國體本義の透徹を強調、ついで各常會毎に二月の實踐徹底事項として『神を祀り感恩報謝の生活を致しませう』と申合せ神の子皇民の誇りも高く戰時下物資不足を克服して戰ひ勝たうとの決意を固める

・二月實踐徹底事項―『神を祀り感恩報謝の生活を致しませう』如何なる時でも神を忘れぬ生活こそ日本國民の生活であります、皇軍勇士も常に陛下の御稜威と皇國の興隆を神に祈りつゝ戰つてをられます、銃後の御奉公はすべて敬神の念から湧き出て來なければなりません、私共は一層敬神崇祖に心を留め道義を重んじ感恩報謝の生活に徹し消費規正に努めませう）

お粥もうまい
勝拔く爲の節米はこれに限る
近く全鮮に徹底運動

一粒のお米、一匙の食べ物も節約して我らが將兵に贈らう、一滴の水に飢ゑを凌ぎあらゆる險苦、缺乏に耐へて戰つてゐる皇軍將兵の事を思へば銃後は何の不自由なく安住してゐることが誠に申譯ないことである、我々は第一線將兵の勞苦に應へ政府の食糧對策に協力して前線將兵の食膳を潤さうと總力聯盟では半島二千四百萬愛國班員の愛國心に訴へ"食糧の消費規正徹底運動"を全鮮に實施し、三度の食事もなるべく代用食に、味噌本位から副食本位の食事にと次のやうな實施項目を掲げて近く大大的に實踐運動を展開することゝなつた

これによると外米や滿洲依存を捨てて飽くまで消費規正を厳守して出來得れば一粒の米でも節約して内地に供出し勝ち拔く銃後の食糧確保に協力しようとするものでこれがためには半島銃後の一人々々が食糧消費規正を守ると共に各聯盟愛國班などにおいては一日一回以上の粥食を勵行するほか山菜、木實、樹根海藻などの補足食糧をつとめて攝取し食糧報國に邁進するものでこの運動期間中は聯盟を初め食糧報國會が各地主要都市で講演會、映畫會、座談會を催すほか府郡邑面などの各聯盟では運動に關する諸行事を行ひ、これが實踐徹底を期することゝなつた

曉闇衝いて肉彈突撃
火の錬武・北邊の神兵

【滿ソ國境〇〇にて關東軍報道隊員本社森川特派員發】寒月が蒼く冴える、ギラギラと

星座 が光る、寂として聲もない彼方に點々と灯がみえる―

報道隊員の第一歩を國境の街〇〇驛に踏み入れたのは〇月〇〇日の眞夜中だつた、防寒帽、防寒靴、防寒脚絆にガツチリと包んだ足の爪先きがジーンと冷く、防寒帽に包んだ顏がいたい……"エイー、ウオー"銳い叫びに目を醒す、午前六時だ、慘烈な寒氣を衝いて兵隊さんは早くも劍術に鍛錬の魂を打ち込んでゐる、防寒シャツと稽古衣の上に防具を付けたのみの體はマリのやうに輕く突き込む銃劍は鋭いこの寒いのに兵隊さんは汗を流してゐる、まこと聖汗とはこのことであらう

遙か 東南方の丘陵に綴い煙が棚引いてゐる、寒地部隊特有の氣溫の逆轉で上に昇らないのである、一見濃霧のやうだ、突如"ダダ……"機銃の音が絶える、〇〇部隊の陣地攻略戰の演習である"ギユウ〳〵"氷雪を踏んでわれわれは一散に丘へ登つて行つた、白衣を着た兵隊さんが凍りついた雪の上に伏せてゐる、顏を眞赤にして伏せてゐる、寒さを知らないやうな兵隊だ、發火發煙筒が向ふの丘の中腹に上り煙幕は流れる、それを縫うてスキー隊が白衣を翻へして燕のやうに進む、〇〇砲が唸り

重機 が火を吐き、兵隊は氷雪を蹴つての肉彈突撃だ、赤い顏からは玉のやうな汗が流れてゐる、酷寒を克服した神兵の形相だ、この顏、この意氣、北邊に燃ゆる熱火である、これあつてこそ南方の勇士も安んじて米英殲滅戰に戰力勵、あの大戰果をあげえたのである、酷寒を克服し、自在に戰ひ得るこの姿をみると"北人南物論"がピンとくる、北方こそ人は鍛えられ、磨かれて行き、人はこの地から求められるのだ、吾等北邊こそ大和民族鍛成の天地であることをまざ〳〵とみせつけられ酷寒鍛錬に耐へて驅使する將兵には理屈なしに頭が下るのだつた

錬成と國語の普及
北海道廳で半島人壯丁を指導

【札幌電話】朝鮮の徵兵制實施に對應し北海道廳では道內半島人に對し皇軍の一員として聖戰に參加するの光榮と皇軍の本義を周知徹底せしめるため大要次の如き指導方針を決定、內政、警察兩部長名で市長、市町村長宛通牒することになつた、これが實施に當つては、道協和會が推進部隊となり關係團體がこれに協力し半島人教育の萬全を期せんとするもので、壯丁に對する國語の普及と生活訓練はその重要性に鑑みこの指導要領とは別個に考慮され近く實施細目が決定される

◆指導方針　徵兵制度は國體の本義に基くものでこの制度が朝鮮に施行されることは畏くも一視同仁の聖旨に基くものなることを明示せしめるとゝもに、皇軍の本義は肇國以來儼然たるわが國體に淵源するもので、徵兵の義務は皇國臣民のみに課せられた崇高なる義務にして天皇の股肱と呼ばせ給ふ最も光榮なる存在なることを徹底せしめる

實施事項　講演會、懇談會、文藝などにより本制度の趣旨を內鮮人に普及徹底させる、國語の理解が義務たるに鑑み國語講習會を開催、國語常用指導などにより國語理解促進の方途を講ずる、青少年の資質向上のため講習會、錬成會で心身を錬成する青少年の育成には母の感化力大なるをもつて母性の指導錬成に格段の考慮を拂ふ

酷寒と闘ふ北邊の護り　現地勇士の座談會
凍つた林檎で野球
迂濶に金物にも觸れられぬ

【滿ソ國境〇〇にて關東軍報道隊員本社森川特派員發】荒漠たる氷原に酷寒と寂寥を克服し警備する〇〇部隊を訪ねた記者はどんな言葉でも表現できない"鐵の兵"を第一線に語つてもらつた、以下はその座談會である

問　酷寒の北滿にきて最初に感じたことは……

山岡富藏（上等兵）驚いたといふことは驚くの前でしたが、全く驚きました、それにつけてもこちらのクリーなどが、この酷寒に手套もはめずにやつてゐるのにはびつくりしました

山本朝雄（伍長）この邊の雜貨店は滿人でなく支那人であるため少し遠慮がある、これをもつと日本人化するやう指導しなければならぬと思ふ

山岡　滿人は親しんでくるが支那人はさうでない、滿人からは自分らまで大人々々と呼ばれてゐる（笑聲）

荒井國三郎（軍曹）滿人は相変らずのやうにノンビリと仕事をしてゐるやうに見えるが仕事の出來上りをみると相當はかどつてゐる、こんな點も考へさせられた、インテリー揃ひの兵隊さんだけに現地住民に對する關心の深いのには驚かされた

問　寒氣と、その克服について……

山本　古靴上をカバーに縫ひ合へて靴下の上に履いたり古靴下を手套の內側にあてたり、少しの布でも無駄にしないやうに努めてゐる、また手套だけでは手先きが凍いので手套の中で手を丸めたり足先を靴のなかで丸くするやうに動かしてゐるのです、この寒さな內地に手紙を出して知らせても判つてはくれません

荒井　朝、顏を洗ふ時、指を三分間もつけてゐると忽ち白蠟色になり、これが進行すれば凍傷になるのです、こゝでは零度に風速を加へた寒さがほんとうの寒さですが風でも吹けば大變です

結城次郎（上等兵）自分は一度びつくりしたことがある、

雪原に砲車は進む（關東軍報道隊員本社森川特派員撮影―軍許可濟）

集つた義捐金
罹災道へ二十萬圓を分配

朝鮮社會事業協會では昨秋來北鮮罹災民義捐金の募集をつゞけてゐたが、氣の毒な同胞に寄せる愛は半島の津々浦々に澎湃と湧きあがり、義捐金募集は極めて順調に進行、罹災者のうち老幼癈疾病者の扶助費および國民學校就學兒童中缺食兒童に對する給食費、さらに學用品給與費などに充當すべき義捐金だけでも去る一月十六日までに現金取納額卅餘萬圓に達したので、同協會では五日差當り廿萬圓を罹災道に分配した

これで昨年十二月中に分配濟みの十五萬三千四百圓をこれに合せると總額は卅五萬三千四百圓に達したわけである

旗印も"嬉しい赤い丸十"
南海に活躍する更生帆船

【マカツサル六日同盟】小原政府で忘れられぬ丸に十の字の標識も勇しくいま更生セレベスのプラウ（帆船）はわが指導の下に南海を縱横に活躍してゐる、和蘭統治時代の一九三九年の統計によるとセレベスのプラウは一萬二千隻で、そのうちメナドを根據としてゐたものが二千隻とあるから南セレベスを根城にしてゐたものは一萬隻となる

プラウは純然たる帆船で小型なものは二トン位のがあるが、大航遠洋航海をする大型プラウは六十トンから七十トン位である、そのうちでママダル船のレテレテ型、ブートン船のランボ型、ブギス船のパラリー型が普遍型で戰前遠くシンガポール方面まで大船團を組んで貿易してゐたのはランボ船、パラリー船である

その昔八幡大菩薩の旗を南海に翻へした海賊十群の大部分は馬津の定紋丸十を付けることを忘れなかつた、今新しく皇軍の治下に入つた南國の海の子達も日の丸からヒントを得て赤い丸十の印を帆に鮮かに染め拔いてゐる、そしてこれらはこれをチヤチプロダ（輪印）といつて喜んでゐる

韋駄天で神社巡拜
帝都で必勝祈願の耐寒行軍
在內地半島學生

街の清掃に京電も一役

賣上金を建艦費に獻納

故林銑十郎大將の葬儀

イラン十箇國に宣戰

伊、瑞通商協定

畏し朝香宮殿下台臨
神宮スキー大會終る

【日光湯元電話】第十三回明治神宮國民錬成冬季スキー大會最終日は七日午前九時から奥日光湯元踏平會場で飛躍、繼走兩競技が行はれ、府縣對抗の榮冠を爭ふ最後の激戰敢闘が隨所に展開されたこの日畏くも朝香宮鳩彦王殿下には早朝湖光ホテル御出發、惡條件にて自動車不通のため約八キロの雪道をスキーにて御成遊ばし午前十時十分大會場に御成りあそばされた、殿下には登山帽、スキー服に御外套といふ御服裝にて猛烈なる寒風をものともせられず直ちに飛躍台に成らせられ、出場選士の敢闘振りを親しく台覽あらせられたのち、静かな御滑降で大會本部に御着、御少憩ののち午後一時過ぎ再びスキーをめさせられ御歸還あらせられた

最惡條件を克服
榮冠樺太軍の上に輝く

【日光湯元電話】第十三回明治神宮國民錬成冬季スキー大會最終日の七日は朝香宮殿下台臨の光榮に輝やき惡條件を冒して敢然開始された、この日新複合飛躍競技の行はれた傾斜面は氷雨乾燥崩雪が起り激成峠の繼走コースは雪崩のため區められ一部變更を餘儀なくされるといふ稀に見る惡條件であつた

まづ午前九時から複合後半飛躍競技が開催され、第三日の前半長距離で十位の星野君（東京明大）が飛躍で四十六メートル五〇を飛んで優勝、學生軍のため氣を吐いた、次いで午前十時四十分より開始された飛躍競技はけふの一本勝負となり、古豪若本君（滿洲）が惡條件に惱む純飛躍の諸巨豪を押へて優勝する香狂せを演じた、繼走競技は猛烈な寒風を衝き十八チームの一齊スタートによつて開始され、第一周目秋田の第一走者星川、宮城の押切兩選手の間に激しい先頭爭ひが演じられ猛烈混戰狀態となつたが結局優秀選士を擁する樺太チームが青森を一分半離して快勝

こゝに府縣對抗優勝の榮冠は東京軍の力鬪も及ばず初めて樺太軍の上に輝やいた、かくて全競技を終了、午後三時から閉會式に移つたが依然惡條件のため大會本部内において擧式、優勝者を表彰、感激の旗を奉送してこゝに四日間にわたる全選士の眞摯敢鬪によつて健民錬成の大會は新面目を遺憾なく發揮して閉會した

健民はスキーをはいて
恒例の全國皆スキー行進

【日光湯元電話】老いも若きもスキーを履いて國土防衛に、健民錬成は寒氣を衝いて全國民が皆スキーを穿かなければと恒例の全國皆スキー行進が七日全國の各スキー場雪の街、冬の村々で一齊に行はれた、この日中央會場たる明治神宮冬季スキー大會の行はれてゐる奥日光湯元スキー場では午前八時新雪を蹴つて役員、選手代表有志約五十名が參加、なかには五歳の子供やもんぺ姿の内儀さんも交り如何にも皆スキーらしい風景だ八時半まで中央壇上に聖恩の旗を迎へて國旗掲揚、國民儀禮、會長小泉厚相の挨拶（宮脇厚生省鍛錬課長代讀）のゝち宮脇鍛錬課長の發聲で聖壽萬歳を奉唱それより日光製錬所奏樂隊の奏でる雄壯な行進曲に合せて約一キロの飛躍大會場まで堂々のスキー行進を行つた、なほAKでは本會場のマイクを通じて全國へ放送した

最終日記錄

▲府縣對抗兼全日本選士權 1樺太二時間二三分二三秒2青森3秋田4東京5北海道6新潟

▲複合競技個人選手權 1星（明大）四二四・九五2大場（早大）3久保4佐藤（樺太鐵道）5山口（群馬）6武見（日大）

▲複合競技府縣對抗 1久保（東京）四一六・四2佐藤（樺太）3山口（群馬）4武見（東京）5佐藤（樺太）6泉（群馬）

▲飛躍競技個人選士權1若本松太郎（滿洲）一二一二點四五メートル2脇本（明大）一〇五、三3久保（明大）一〇四、六

▲飛躍競技府縣對抗1若本松太郎（滿洲）一二一二點四五メートル2久保（東京）3朝木（北海道）

▲府縣對抗總得點並に順位 1樺太三五點、2東京三三點3北海道一六點4青森、滿洲一一點5秋田八點

【寫眞＝神宮スキー長距離（複合前半）に一位となつた山田選士（早大）の力走】

東亞競技冬季
氷上大會開く
滿洲建國十周年を慶祝

【新京七日電話】大東亞戰爭下『稱揚興亞』を標語に建國十周年慶祝東亞競技大會冬季大會氷上競技第一日は、日滿若人七十餘名を集めて七日午前九時から新京兒玉公園氷滑場で開會式を擧行、大會々長周民生部大臣の式辭、慶祝會事務局長松井七夫陸軍中將の祝辭につづいて滿洲國軍主將三代正勝選士が宣誓を行へば全選士はこれに和、午前十時女子滑走五百米によつて酷寒に挑む東亞若人の氷上敢闘譜が繰展げられた、記錄左の通り【寫眞＝入場式に於ける日本代表＝電送】

▲女子五百米速滑（區分走路）1木村芳子（滿）五六秒一、2坂本（日）3細子（滿）

▲男子五百米速滑（區分走路）1内藤晋（日）四五秒七、山下（日）3三代

▲男子五千米速滑1廣川孝昌（日本）九分四秒三2深井（日本）3片倉（日本）

▲女子三千米速滑（區分走路）1野澤光子（日本）六分十七秒2長野（日本）3佐々木（日本）

▲男子型滑（規定）1神田博（日本）三五八・〇2高山（日本）3中村（滿洲）

▲女子1月岡芳子（日本）三六二2生田（日本）3永島（滿洲）

府民氷上錬成大會

決戰下、勝ち拔く氣魄を盛つて嚴冬に鍛へる府民氷上錬成大會は京城府主催のもとに七日午前十時から京城漢江人道橋下府營滑氷場において一般、學童百五十名が出場して開催された、國民儀禮に次いで直ちに試合を開始、八百、四百滑走、抽籤、飴食滑走など愉快な種目を織り込んで銀盤上に熱戰を繰展げ、同十一時半終了した

佛印に今浦島の彫塑家
滯在半世紀を佛印美術に捧ぐ

【サイゴン六日同盟】今サイゴンで開かれてゐる見本市博覽會の佛印美術陳列場を毎日のやうに訪れては感慨深げに眺めてゐる日本人の老紳士がある、佛印美術就中彫刻鑄造技術を現在の線まで引上げた蔭の功勞者で、今は四十數年に亘る佛印美術界での藝術生活から引退し、サイゴンに在つて靜かに古代安南戯曲の翻譯に餘生を送つてゐる石川浩洋氏（七五歳、本名七雄、徳島縣出身）がその人である【寫眞＝石川浩洋氏】

石川氏は明治二十二年東京美術學校鑄金科に第一期生として入學、横山大觀、下村觀山氏等と期を同じくして學び同廿七年卒業、東西兩美術論を繞つて紛爭が絶えなかつた我が黎明期の美術界に送り出された

然し彫塑

を專攻した同氏は他の同期生にも増して勞苦が多かつた古代より傳はる日本彫刻の韻的な美しさと陶器の中から生れた西歐彫塑の逞しい躍動美を調和創造すべく決意した、若き日の石川氏はアトリエに閉ぢこもつて懸命の研究を續けた、そして努力と努力とは遂に時の美術學校長岡倉天心氏に見出され明治廿七年研究生として米國へ派遣され有名なロダンの研究所に入り、眞劍に研鑽し、ここでもその才能と熱心さが認められてヨーロッパ視察を命ぜられ獨佛伊の各地で研鑽を重ね多くの藝術的收穫を土産に四年振りに歸朝した、その頃フランスの佛印統治も漸く軌道に乘り總督と原住民指導のためハノイ工藝學校（當時職業學校）を設け彫像鑄造の教授として佛本國より度々專門家を招聘したが

適任者に

困り拔いた佛印總督はローマ駐日佛公使を通じて申込んで來た、日本から美術家派遣方を當時のパきた、よつて我が外務省では文部省と協議の上石川浩洋氏を彫塑界の第一人者として推し、同氏もまた東洋美術の傳統を有する佛印の美術界を自分の手で開拓しようとこれを快諾し明治四十四年一月渡佛、當時ハノイ工藝學校に共に佛印に渡りハノイ工藝學校に教鞭をとることとなつた、當時ハノイには日本人男子は同氏たち以外には僅か二名といふ寥々たるもので殊に文化方面では同氏をもつて嚆矢とするので佛人も安南人も同氏を珍らしがつた、石川氏は大東亞戰爭勃發後遂に

渡來した日本の藝術使節に對し心からなる敬意をもつて歡迎を惜しまなかつた、然し當時の佛印彫塑界は原始的な域を脱せず、石川氏はあらゆる不便を忍び只管學生を薫陶すると共によき作品を送り出すために教授の傍ら和歌の研究所を設けて優秀な弟子の養成に努めたが

彼の斬新

な作品は次第に佛印官民の驚嘆を一身に集め、銅像や裝飾品の註文が殺到し、彼の作品が公園や寺院等を飾るやうになつたまた廢物を利用して自動車の部分品その他精密機械等もつくり出したりした、佛印の墾地として崇仰の的となつてゐるハノイの無名戰士像の前に立つてゐる平和鄕東京を象徴する農夫がその子を背に乘せた水牛をひき家路へ急ぐ姿を彫つた像、サイゴン無名戰士碑の兩側にある支那の流れを汲む東洋趣味の一對龍を配し、周圍に鼎を置いたものは何れも石川氏の作である、この作品完成と共に多年佛印美術界に貢獻した同氏の功に對し佛印政廳ではフランスにおける藝術家の最高名譽とするアカデミー勳章を贈りアカデミー名譽會員たるの資格を贈つた、かくて

佛印美術

史に輝く唯一の日本人緊密化した日佛印關係の姿を會心の微笑をもつて眺めつゝ四十數年の氷い藝術家生活をうち切つた、そして今は佛印の大地に骨を埋める覺悟で呼び寄せた家族と共にサイゴン碼頭に近い新居に老軀を養ひつゝ力作の小銅像を凝視しながら靜かに語るのだつた

四十數年に亘る私の佛印生活、それは外の在留邦人とは違ひ藝術を通じての視野からではあるが藝術といふものは凡ゆる分野に喰込んでゆくので私の經驗を通しての佛印に對する印象は相當深いものがある、一九〇〇年私がハイフオンに上陸した時と現在とを比較してみて實に隔世の感がある、日本的なものなど見たくてもみられなかつたあの當時今のやうな日佛印關係を豫想した譯ではないが、光輝ある日本文化を一人でも多く認識させたいと努めて來た、藝術には國境がないといふが、全くその通りだ私のいふこと、教へることは何んでも素直に受け入れてくれた、ゆく〳〵は私の弟子の作品を日本へ紹介し、恩師の岡倉天心先生の靈前に報告したいと思つてゐたところ、近く東京で日佛印美術展覽會が開催されるのでこれで私の宿望も達せられる譯だ

帝室博物館溝口美術部長談

石川君は美術學校の鑄金科にゐたがその頃は本名の巳七雄だつた、私は繪の方をやつてゐた關係上特に思ひ出話もない、石川君は當時の同級生で蒔繪をやつてゐた石河君と二人で佛印に渡つたといふことを聽いたきりで、その後一向に消息を知らなかつた、ところが一昨年石川君は嬢さんの結婚式でひよつこり歸つて來た、その時會つてみるとすつかり昔の俤が變つてゐるので、びつくりした、何しろ長い歳月なので言葉まですつかり佛ふ式になつてしまひまるで浦島

ラジオ　8日

朝　六・四五體操―下谷區金曾木國民學校々庭大詔奉戴日體操大會より中繼▲七・〇〇1君が代2詔書奉讀（錄音）3大詔を拜し奉りて（東條内閣總理大臣錄音）4『無敵國内態制の確立』5愛國詩『大詔奉戴』（錄音）6朗讀『今日よりは』ほか大麻博之▲七・三〇（放）大詔奉戴日常會の時間1國旗揭揚・國歌奉唱2宮城遙拜3默禱4講話『神國日本と敬神』朝鮮神宮々司額賀大直（通譯）總力聯盟芳村香道▲九・〇〇『我等の戰爭生活』翼賛會大阪府支部事務局長藤岡長和▲九・三〇大麻奉齋の心得（鮮語）朝鮮神宮出仕鈴川元車▲一〇・〇〇ミンナデオヤクソク『ガマンシマセウ』若竹幼稚園兒他▲お話と音樂『日本のしるし』一年生の時間　三堀一延東京市竹町國民學校兒童

晝　〇・三〇喇叭吹奏と合唱（喇叭吹奏）竹田弘ほか、（合唱）日本放送合唱團▲一・〇〇朗讀『伊勢御幸』―吉川英治讀記―▲二・〇〇國民學校放送『學校新聞』▲二・三〇朗讀（鮮語）『白馬の使者』伊東渉▲四・〇〇『祓神』（上）總督府祭務官鈴木重道▲四・三〇兵役讀本（鮮語）藤田絶正

夜　六・〇〇海行かば▲六・三〇『野菜の貯藏に就て』尚嶺光道▲七・三〇『港灣荷役の増强について』遞信局長石田千太郎▲七・五〇ベルリンよりドイツ通信▲八・〇〇舞臺中繼―東京劇場より―元祿忠臣藏『吉良屋敷裏門』長十郎、猿右衛門、國太郎ほか▲九・〇〇（鮮語）1詩歌聯唱『我等も兵士だ』河原繁藏（尺八）武井一鳳2連續講談『淸水次郎長』（一）本山秋堂▲九・四〇初步國語講座

『大いなる祭』原稿未着に付本日休載